

4 親育ち支援

令和7年度 親育ち支援研修及び支援一覧

事業名	研修名	実施主体	研修日程等	実施場所	受講者・対象	事業概要
親育ち支援啓発事業 	保護者研修 *保育所・幼稚園等での研修 *市町村単位の研修	実施園 市町村主管理課	保育所・幼稚園等または市町村からの電子申請サービスからの申込み等により実施	実施園 市町村等	保育士・教員・保育教諭等	親育ち支援についての理解を深め、保護者への関わり方等支援力の向上を図るため、各園の実態や課題に応じた保育者研修を実施する。
	保護者研修 *保育所・幼稚園等での研修 *就学時健診での講話	実施園 市町村教育委員会	保育所・幼稚園等または市町村からの電子申請サービスからの申込み等により実施	実施園 市町村 小学校等	保育所・幼稚園・小学校等の保護者	良好な親子関係や子どもへの関わり方について保護者の理解を深めるため、保育所・幼稚園等において、講話やワークショップを行う。
	保護者の保育者体験	実施園	園内で計画	実施園	保育所・幼稚園等の保護者	子どもの育ちや保育に関する保護者の理解を深めるため、保育所・幼稚園等を利用する保護者に一日や半日で保育者体験を実施する。
親育ち支援保育者スキルアップ事業 	ネットワークを広げよう！ 親育ち支援担当の在り方	I	東部 5月16日（金）安田町文化センター 中部 5月 8日（木）高知会館 西部 5月13日（火）四万十ピア	各園の親育ち支援担当者	親育ち支援担当者が自園における研修計画に基づいて、親育ち支援が計画的・継続的に行われるよう講義・演習を行うことにより、自園の親育ち支援実践力の向上を図る。	
		II	東部 1月27日（火）安田町文化センター 中部 1月29日（木）高知会館 西部 1月30日（金）四万十ピア			
	親育ち支援講座 （県下6地域）	幼保支援課	7月10日（木）高知会館	保育士・教員・保育教諭等	保育者の親育ち支援力の向上を図るため、親育ち支援の基本的な考え方や保護者への関わり方等について、講義・演習を行う。	
		親育ち支援地域別交流会 （県下6地域）	市町村主管理課 幼保支援課	※会場は未定 東部1グループ 7月29日（火） 東部2グループ 7月24日（木） 中部1グループ 7月30日（水） 中部2グループ 9月 4日（木） 中部3グループ 6月25日（水） 西部1グループ 7月 3日（木）	各園の親育ち支援担当者・ 保育士・教員・保育教諭等	保育所・幼稚園等の親育ち支援体制の充実及び親育ち支援力の向上を図るため、近隣の市町村において親育ち支援地域リーダーや親育ち支援担当者等中核となる保育者同士がネットワークをつくり、地域の課題に応じた取組を行う。 〈東部地区〉 1グループ：室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村 2グループ：安芸市、香南市、馬路村、芸西村 〈中部地区〉 1グループ：香美市、南国市、本山町、土佐町、大豊町、大川村 2グループ：高知市、いの町、仁淀川町、土佐市、日高村 3グループ：須崎市、中土佐町、佐川町、越知町、梶原町、津野町、四万十町 〈西部地区〉 1グループ：四万十市、黒潮町、宿毛市、土佐清水市、三原村、大月町
			親育ち支援地域リーダー研修会	幼保支援課	2月17日（火）教育センター AM リーダー研修会 PM ステップアップ研修会	各市町村の 親育ち支援地域リーダー等
親育ち支援ステップアップ研修会	幼保支援課			保育士・教員・保育教諭等	保護者支援の内容や支援の方法について理解を深め、保育者の親育ち支援力の向上を図る。	
基本的な生活習慣向上事業	基本的な生活習慣に関する学習会及び取組	保育所・幼稚園等	5月～6月頃 基本的な生活習慣に関する保護者用パンフレット配付時に学習会を実施	保育所・幼稚園等の 3歳児保護者	幼児期からの望ましい生活習慣の重要性についての理解を促進し、子どもたちの健やかな育ちにつなげるために、保育所・幼稚園等が、基本的な生活習慣の定着を促す取組を実施する。 ・基本的な生活習慣の取組強調月間の実施（6月・11月） ・基本的な生活習慣の取組状況調査の実施（7月）	

親育ち支援推進事業等全体概要

幼保支援課

R7当初：6,036千円（一）4,104千円
（R6当初：5,546千円（一）3,834千円）

事業概要

保護者が良好な親子関係や子どもへの関わり方について理解を深め、子育てに対する自覚や意欲を高められるよう、保護者や保育者への支援等を実施する。

期待される効果

保育所・幼稚園等の親育ち支援体制を充実させ、親育ち支援力の向上を図る。こうした取組を推進することにより、親の子育て力の向上を図り、子どもの健やかな育ちにつながる。

現状・課題

家庭や地域における生活環境の変化や核家族化、厳しい経済状況等を背景に、子どもへの接し方がわからなかったり、子育てに不安や悩み、負担感や孤立感を抱えたりする保護者が増えていることから、日常的・継続的に親育ち支援を行っていくことが必要である。

事業目標

- 管理職のリーダーシップのもと、親育ち支援担当者を中心にチームとして計画的・継続的に親育ち支援に取り組んでいる。
- ◆親育ち支援年間計画の作成率 85%
- 望ましい生活習慣の確立に向けて園や家庭で継続的に取り組んでいる。
- ◆午後10時までに寝る幼児の割合（3歳児）：95%以上

実施内容

■親育ち支援保育者スキルアップ事業

- ◆ネットワークを広げよう！
親育ち支援担当の在り方
〔各国の親育ち支援担当者が役割を自覚し、作成した年間研修計画に基づいて親育ち支援が計画的・継続的に行われるよう講義・演習を行い、各園の親育ち支援実践力の向上を図る。〕
- ◆親育ち支援講座
親育ち支援の基本的な考え方や保護者への関わり方等について、キャリアに応じた講義・演習を行うことにより、保育士・教員等の親育ち支援力の向上を図る。
- ◆親育ち支援地域別交流会
親育ち支援地域リーダーを中心に各園の親育ち支援担当者等が集まって近隣の市町村の園とネットワークをつくり、自園や地域の課題に応じた研修や実践交流を行うことにより、自園の取組の充実を図る。
- ◆親育ち支援地域リーダー研修会及びステップアップ研修会
〔親育ち支援地域リーダーのスキルアップやコーディネート力の向上を図り、リーダー同士の交流を深めることにより、各園や地域における親育ち支援の充実につなげる。〕
- 〔保護者支援の内容や方法について理解を深め、保育者の親育ち支援力の向上を図る。〕

子どもたちの健やかな育ち

親育ち支援力の向上

親の子育て力の向上



■基本的な生活習慣向上事業

- 〔乳幼児期からの望ましい生活習慣や保護者の関わりの重要性について理解を促進し、基本的な生活習慣の定着と家庭教育の充実を促す〕
- ◆3歳児保護者向けパンフレットの配付、指導者用手引きを活用した園の学習会の実施支援
- ◆5歳児保護者向けリーフレットの配付、指導用DVDの活用（就学時健診時）
- ◆基本的な生活習慣取組強調月間の推進

動画配信（子育てに役立つ）

- 〔保育者の日常的な親育ち支援力向上、園や市町村が行う子育て力向上のための取組を支援する。〕
- 園や市町村におけるニーズや課題に応じた研修
- 市町村単位の合同研修・園内研修・親育ち支援担当者等
- 家庭支援の充実を図るための各園への個別支援
- 保護者向け
○親育ち支援アドバイザー等による保護者や園のニーズや課題に応じた講話やワークショップ等
- 保育者向け
○就学時健診等（小学校）
○保護者会、PTAを対象とした研修

幼保支援課

R7当初: 1,904円 (一) 1,346千円
(R6当初: 2,086円 (一) 1,434千円)

期待される効果

- ◆保護者への支援方法や親育ち支援の具体的な取組についての理解が深まり、各園で個々の保護者に応じた支援が充実する。
- ◆良好な親子関係や子どもへの関わり方について保護者の理解が深まり、子どもにも適切な関わり方をしようとする。

保護者への関わり方や子育てに関する情報提供の仕方などについて理解を深め、組織的・計画的な育児支援を行うことができるよう、市町村単位等による保育者の親育ち支援力向上のための研修を充実させる。

良好な親子関係や子どもへの関わり方の理解を深めるための講話等を行い、保護者の子育て力の向上を図ると共に、子育てのポイントを解説した動画の配信等、より多くの保護者に支援を届けるための環境を整える。

事業目標

親育ち支援の必要性についての理解は進んできたが、若年保育者の増加や家庭環境の多様化により、家庭に合わせた適切な支援が計画的に十分に行われていない現状がある。また組織的・計画的な取組には、就学前教育・保育の実施主体である市町村と連携し支援に取り組む必要がある。このため、保育所・幼稚園等において、組織的・計画的かつ継続的な親育ち支援が行えるよう、市町村と共に園の親育ち支援力を高めることが必要である。

核家族化や厳しい経済状況等を背景に子どもに向き合う余裕がなかったり、子育てに不安や悩みを抱えたりしている保護者が多くいる。また保護者の生活習慣の乱れが子どもへの基本的生活習慣の未定着につながっているケースもある。このため、良好な親子関係や子どもへの関わり方、子どもの育ちについて保護者の理解を深めることが必要である。

各園の親育ち支援担当者を中心として作成された親育ち支援年間計画書をもとに、保護者の実態に応じた取組が園で実施される必要がある。

子どもたちの健やかな成長

良好な親子関係の構築

★研修内容例(講話・ワークショップ・事例研修)

- ・乳幼児期に大切にしたいこと
- ・保護者との信頼関係を築くには
- ・子どもの育ちを保護者に伝えるには
- ・考えよう！家庭支援の在り方
- ・保護者への声がけや相談の聴き方などを体験的に学ぼう
- ・子どもの育ちを保護者にわかりやすく伝えよう
- ・乳幼児期からの人権教育ワークショップ
- ・職場のチーム力を高めよう

動画配信(子育てに役立つコツ)

- 叱ること・ほめること
- 寝かしつけ
- 「イヤイヤ期」の子育て
- きょうだいとの関わり
- スマホ時代の子育てを考える 等

組織的・計画的・継続的な取組

園の親育ち支援力の向上

保護者研修

- 園内での研修
- 就学時健診での講話
- 保護者会・PTAを対象とした研修

園(市町村)の保護者の実態やニーズ、課題

★講話

- ・子どもの健やかな成長のために
- ・きょうだいの関わり
- ・叱ること、ほめること
- ・基本的生活習慣について 等

★ワークシヨップ

・「子どもと向き合うために」等の体験的演習

★一日保育者体験

応援します！「親育ち」

「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを、保護者に具体的に伝えたい

子どもとの関わり方がわからない、悩んでいる保護者がいる

子どもと保護者の姿をもとに、親子への具体的な支援を考えたい

園の保護者や保育者の実態は？

小学校就学に向けて大切にしたいことを伝え、保護者の不安を和らげたい

保護者に子どもの育ちをどのように伝えたらいいかわからない

実態を踏まえて

経験の少ない保育者、臨時やパートの職員も一緒に、園全体で取り組むために親育ち支援について学びたい

ねらいを明確にして実践し、ふりかえりから次につなげていくのがポイント！

親育ち支援担当者を中心に「**親育ち支援年間計画**」を立てましょう！

※次ページを参考

☆園（市町村）や保護者の実態・ニーズに応じた取組内容を考えましょう。

保護者研修

いつ…参観日、園行事、降園前
誰に…〇歳児保護者を中心に
時間…1時間くらい
(講話とワークを組み合わせる)

保育者研修

いつ…午睡の時間、預かり保育の時間
(動画を活用し、自園のみで実施可能な研修があります。ぜひご活用ください。)
誰に…職員対象
(臨時・パートを含む)
時間…1時間30分から2時間

保護者の保育者体験

保護者が園で一日や半日をめに保育者として参加し、自分の子どもやほかの子どもの様子を見たり、保育者の関わり方を見たりして、子どもの育ちや関わり方の理解につなげます。

園で実施

- ★申し込み……高知県電子申請サービスによりお申し込み下さい。
- ★研修当日まで…事前聞き取り票等をもとに研修の内容、環境、準備物等について打ち合わせをさせていただきます。
- ★当日………幼保支援課のアドバイザーや指導主事等がお伺いさせていただきます。

研修後、園での振り返りを、次の実践につなげていく



親育ち支援年間計画を立てましょう



【作成のポイント！】

※子どもや保護者の実態、園の状況に基づいて、計画を立てましょう。

※園内で共有し、目指す方向性や年間の見通しを共通理解しましょう。

※全ての月に取組を入れる必要はありません。保育者、保護者にとって必要だと思われる取組を計画しましょう。

令和 年 月 日

令和 年度 親育ち支援年間計画

施設名 ()

親育ち支援担当者 ()

年間 目標	目指す保護者の姿	目指す保育者の姿	1年を通して、 「こんな保護者になってほしい、 こんな保護者になりたい」という姿を記入します		
月	取組	対象	ねらい（目指す姿）	内容	ふりかえり
4	今年度の取組についての協議	保育者	保育者：気になる子どもや保護者についての実態を把握し、共通理解を図るとともに、その実態から支援方法や取組を探る	- 年間研修計画の見直し - 支援リストの確認 - 家庭支援の計画と記録の確認	- 年間を通して、目指す保護者や保育者の姿につながる取組を計画することができた - 取組実施後には、全職員でふりかえりをしていきたい
5	クラス懇談会	全保護者	保護者：担任や保護者同士で楽しく会話をすることで、互いの顔を覚えたり、気軽に話ができる関係になる 保育者：保護者同士の会話の様子を見たり、一緒に参加することで、保護者の思いや願いを知る	- アイスブレイク - おしゃべり会（子どものよさをアピールしよう！）	- 保護者にとって、おしゃべりのテーマが話しやすかったようで、たくさんグループから笑い声が生まれていた - 保護者から、子育てについての質問や不安がでたため、子どもの発達について知る取組をいれていきたい
6				その取組を実践してのふりかえり →次の取組につなげるようにしましょう	
7	3歳児 半日保育者体験	3歳児 保護者	保護者：子どもへの接し方を見たり、保護者同士で話し合ったりすることで、子どもにどのように関わればいいのかを具体的に知る 保育者：年齢に応じた子どもとの接し方や発達の捉え方を、実際に子どもとの関わりを見せることで伝える	- 普段の園での子どもの様子や、保育者との関わりを見る - 保育者と一緒に保育をする - 保護者同士の体験のふりかえり（子どものかわいいところや子育ての悩み）	- 保護者同士が、楽しく体験する姿が見られた - 保護者からは、「体験できてよかった」「またやってみたい」という声があった
8			ねらいは、その取組でめざす 保護者の姿・保育者の姿を記入します		
9	保育者研修 （事例研修）	保育者	保育者：気になる子どもの姿から、その子どものよさ、課題、親子の背景を探り、多面的な見方ができるようになる 親子に今後必要な支援を考え、それぞれの立場でできる支援と役割を明確にする	「保護者とともに育みたい資質・能力」の理解 - 事例研修	「保護者とともに育みたい資質・能力」から発達の課題を見極め、現在必要な支援を職員全員で協議し、園全体で取り組めるよう体制を見直すことができた - 子どもや保護者の様子を見ながら、今後の支援内容についても引き続き協議していく
10				保育者研修のおすすめ ○事例研修 年間を通して定期的に行うことで子どもの発達の課題に即したよりよい支援につながります。 ○1日保育者体験 保育者の関わりが子育てのヒントになります。	
11					
12					
1	5歳児 保護者 おしゃべり会	5歳児保	保護者：小学校入学までに家庭で大切にしたいことを知ることで、子どもと保護者が安心して入学を向かえることができるようになる とともに、保護者同士で情報を出し合い、小学校への思いや願いを共有することができる	- 就学に向けた講話（親育ち支援AD・小学校教員） - 小学校入学に向けて、知りたいことや不安なことなどを話し合う	- 保護者から小学校入学に向けて不安があるという声をよく耳にしたため、小学校教員を講師に迎え、話を聞く場を設定した 5歳児リーフレットの活用だけでなく、ADや小学校教員から具体的な話を聞くことができ、保護者からも「子どもと一緒に入学が楽しみなになった」という声があった
2					
3	来年度の取組についての協議	保育者	保育者：気になる子どもや保護者について全教職員で今年度の支援内容や経過を共有し、次年度に向けた支援を協議することによって、よりよい支援を継続できるようになる	- 家庭支援の計画と記録の確認 - 実践シートの確認 - 支援内容及び引き継ぎ事項の協議	- 子どもや保護者の様子から、継続してきた支援内容が効果的であったことが共有できた - さらなる支援内容を園全体で協議することができたため、次年度へと確実に引き継いでいく
一年間をふりかえって			1年間を通して、めざす保護者・保育者の姿はどうだったのか 年間目標と照らし合わせてふりかえります		

☆各取組を実施した後や年度末には、来年度に向けて計画を見直し、加筆・修正を行いましょう。

親育ち支援研修内容について

研修の申し込みについては、
45 ページをご確認ください。



保護者研修（内容例）時間：1 時間～1 時間 30 分

保護者をつなぐアイスブレイクやゲームなどを取り入れながらの研修や、父親対象の研修なども行うことが可能です。ご相談ください。

研修方法	テーマ	内容
講 話	A 子どもたちの健やかな成長のために	子育てで大切にしたいことや、どんなことを意識して子どもに関わればよいのかなどのポイントを学ぶ。
	B きょうだいとのかかわり	赤ちゃん返りの意味やきょうだいそれぞれとの関わり方について学ぶ。
	C 叱ること・ほめること	きつく叱りすぎることが与える影響やほめることの意味、子どもを認めることなどについて学ぶ。
	D 【3歳児保護者向け】 基本的な生活習慣について	子どもが健やかに成長していくために、基本的な生活習慣の大切さや、それを確立するためのヒントなどについて学ぶ。 (3歳児保護者用パンフレット「すくすくリズム元気でモリモリ」)
	E 【5歳児保護者向け】【就学時健診】 小学校入学に向けて	小学校入学に向けて、5歳児の時期に大切なことや、子どもとの関わりの中で大切にしたいことについて学ぶ。 (5歳児保護者用リーフレット「安心して入学をむかえるために」)
シ ョ ッ プ	A 子どもと向き合うために ～子どもの話を心で聴こう～	子どもの気持ちを受け止めること、子どもの行動について理解を深めることなど、体験を通して子どもとの向き合い方を一緒に考える。
	B 子どもの見方を変えてみよう ～リフレーミングを通して～	子どもの見方を少し変え、子どもの気持ちやよさをより理解し、これからの子どもへの関わり方を考える。
	C 子どもの自尊感情を高めよう ～人権教育資料集「スマイル」より～	「①子どもの声を聴く②子どもの生活リズム③わがままと自我④子どものやる気」等の内容について、ロールプレイングやエピソードを通して、子どもの人権について考える。

保育者研修（内容例）時間：1 時間 30 分～2 時間

研修方法	内容	動画	所要時間の目安
事例研修	園で気になる子どもや保護者の姿から、その子どもの根本にある発達の課題を見極め、親子の背景を多面的に捉え理解を深める。親子に必要な今後の支援を考え、それぞれの保育者の立場でできる支援と役割を明確にする。		2時間
講 話 ・ 演 習	1 乳幼児期に大切にしたいこと～高知県の保護者とともに育みたい資質・能力とは～	○	1時間 30 分～ 2時間
	2 保護者との信頼関係を築くには	○	
	3 子どもの育ちを保護者に伝えるには	○	
	4 考えよう！家庭支援の在り方 ～保護者に寄り添う支援とは～		
	5 その他		内容に応じて
ワーク シ ョ ッ プ	1 保護者への声がけや相談の聴き方などを体験的に学ぼう		1時間 30 分～ 2時間
	2 子どもの育ちを保護者にわかりやすく伝えよう (写真やエピソード等を使ったドキュメンテーションについて)		
	3 乳幼児期からの人権教育ワークショップ～人権教育資料集「スマイル」より～ 「①自尊感情や自己肯定感を育むために②子どもの思いを受け止める ③想像力・共感力を育むために④性の多様性を理解するために ⑤特別な支援が必要な子どもたちのために」等について		
	4 職場のチーム力を高めよう ～人間関係づくりゲームを通して～		1 時間 30 分

※幼児教育のブロック別研修会の実践園は、1 年目は講話 1、2 年目は事例研を選んで研修計画を立ててください。

※研修動画を活用し、自園のみで実施可能な研修があります。ぜひご活用ください。(動画欄○の講話・演習)

親育ち支援保育者スキルアップ事業

事業概要

各園や市町村において、組織的・計画的に親育ち支援の取組が行われるよう、親育ち支援担当者のスキルアップや園・市町村において親育ち支援の取組を推進する「親育ち支援地域リーダー」の育成を図る。

期待される効果

保育所・幼稚園等で組織的・計画的に親育ち支援が行われるようになり、園全体の親育ち支援力の向上が図られる。

幼保支援課

R7当初：2,118千円 (一) 1,074千円
(R6当初：2,152千円 (一) 1,092千円)

現状・課題

- ・親育ち支援担当者や地域リーダーを中心に園全体で日常的・継続的な親育ち支援が行われるよう、各園・地域の課題に基づき取組の充実を図り、親育ち支援力を高めていく必要がある。
- ・各園において、親育ち支援の必要性について理解が進みつつあるが、若年保育者の増加や園数の少ない地域においては、様々な保護者の実態に合わせた支援方法等を他園の取組からも習得できるよう、地域の保育所・幼稚園等のネットワーク化を図り、実践等を交流する必要がある。

事業目標

- 保育所・幼稚園等で、親育ち支援担当者が中心となり、充実した親育ち支援が行われる。
親育ち支援年間計画の作成率 85%以上
親育ち支援担当者のネットワーク研修参加率 70%以上

実施内容

ネットワークを広げよう！ 親育ち支援担当の 在り方

- ・各園の親育ち支援担当者
が役割を自覚し、作成した
年間研修計画に基づいて
親育ち支援が計画的・継
続的に行われるよう講義・
演習を行い、各園の親育ち
支援実践力の向上を図る。
(3地域 各2回)

各園の親育ち支援担当者、
家庭支援推進保育士等



園長

教頭

主任

各担任

◆親育ち支援担当者
園の親育ち支援を
コーディネートする
役割を担う保育者のこと

親育ち支援講座

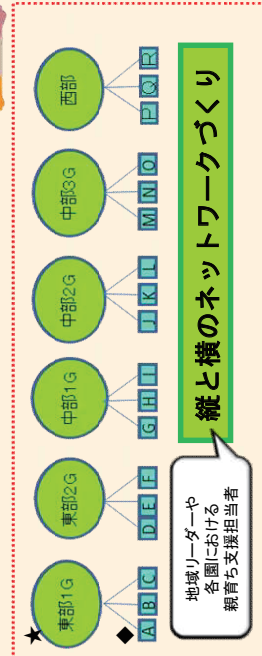
- ・親育ち支援の基本的な考え方や保護者への関わり方等についてキャリアアに於いた講義・演習を行うことにより、保育者の親育ち支援力の向上を図る。
(一般とキャリアアップ研修を分けて実施)

各園の親育ち支援担当者や保護者
支援・子育て支援分野リーダー等
（「キャリアアップ」は受講必須）

次世代の中核者の育成

地域別交流会・連絡会

- ・各園の親育ち支援担当者等が実践交流等を行い、自園の取組の充実を図るとともに、担当者同士のネットワークづくりにつなげる。
- ・地域リーダーを中心に市町村での親育ち支援推進に向けた取組や交流会の計画・実施について連絡会で協議を行う。
(6地域 年3～4回以上開催)



目指すところ

- ・各園の親育ち支援力の向上
- ・次世代の親育ち支援の中核となる人材の育成

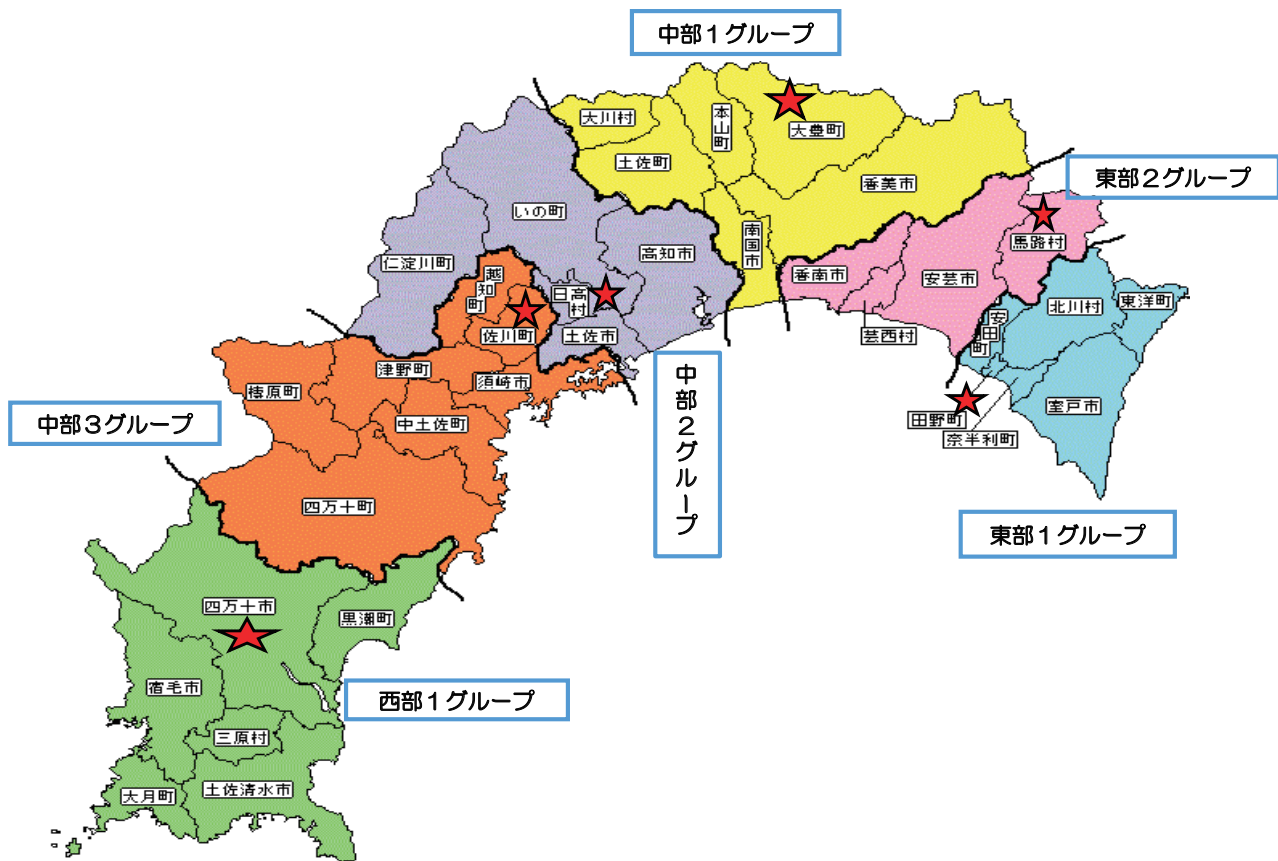
親育ち支援地域リーダー ステップアップ研修会

- ・親育ち支援地域リーダーのスキルアップやコーディネータ力の向上を図り、リーダー同士の交流を深めることにより、各園や地域における親育ち支援の内容の充実につなげる。
- ・保護者支援の内容や支援の方法について理解を深め、保育者の親育ち支援力の向上を図る。

★親育ち支援地域リーダー

- ・市町村において、親育ち支援の取組を広げたり、地域別交流会等の研修をコーディネートする役割を担う保育者のこと。
- ・親育ち支援担当者とも連携し、各園の親育ち支援の取組を推進する。

親育ち支援地域別交流会〈市町村と輪番〉



No.	地区	市町村と輪番									
		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1	東部地区1グループ	室戸市	奈半利町	北川村	田野町	安田町	東洋町	室戸市	奈半利町	北川村	田野町
2	東部地区2グループ	芸西村	芸西村	安芸市	香南市	馬路村	芸西村	安芸市	香南市	安芸市	馬路村
3	中部地区1グループ		土佐町	本山町	大豊町	南国市	香美市	大川村	土佐町	本山町	大豊町
4	中部地区2グループ		土佐市	いの町	高知市	日高村	仁淀川町	土佐市	いの町	高知市	日高村
5	中部地区3グループ		中土佐町	佐川町	須崎市	津野町	越知町	梶原町	四万十町	中土佐町	佐川町
6	西部地区1グループ			土佐清水市	四万十市	宿毛市	大月町	黒潮町	三原村	土佐清水市	四万十市

基本的な生活習慣向上事業

事業概要

子どもとの関わり方や乳幼児期からの望ましい生活習慣の重要性について保護者の理解を促進し、子どもの健やかな育ちにつなげるため、保育所・幼稚園等において、保護者を対象とした学習会の開催や基本的な生活習慣の定着に向けた取組を実施する。

期待される効果

食事・睡眠・運動などの基本的な生活習慣の重要性について保護者の理解が深まり、子どもたちの基本的な生活習慣の改善が進む。

現状・課題

- ・保護者の価値観や就労形態の多様化により、子どもに基本的な生活習慣が身に付きにくい実態があることから、乳幼児期の基本的な生活習慣の重要性や子どもとの関わり方について保護者の理解を図る必要がある。
- ・基本的な生活習慣の重要性は意識していても、保護者の生活習慣の乱れが子どもの基本的な生活習慣の未定着につながっているケースも見られるため、各園において家庭に定着した取組を啓発していく必要がある。

事業目標

- 保育所・幼稚園等における保護者の基本的な生活習慣に関する理解が深まる。⇒各園の学習会の開催 65%以上
- 基本的な生活習慣に向けた取組がなされている。夜10時までに寝る3歳児の割合 95%以上



幼保支援課

R7 当初：1,354千円 (一) 1,354千円
R6 当初：1,308千円 (一) 1,308千円

実施内容

乳幼児期の基本的な生活習慣の確立に向けた取組

■保護者用パンフレットを活用した取組の継続

- ・3歳児保護者へのパンフレットの配付
- ・保育所・幼稚園等における指導者用手引きを活用した学習会の実施
- ・3歳児保護者への講話
- ・基本的な生活習慣の取組強調月間(年間2回)

・基本的な生活習慣に関する研修会
(保護者・保育者研修)

■リーフレットを活用した取組の継続

- ・5歳児保護者へのリーフレット配付
- ・5歳児保護者への講話

・就学時健診等における講話
・DVDの活用(令和3年度配付)

- 基本的な生活習慣の取組状況調査
- 基本的な生活習慣の確立に向けた取組の啓発

小・中学校での取組

- ・授業等で副読本・リーフレット等を活用した健康教育の実施
- ・生活リズムチェックカードの取組



親育ち支援関連資料

◇基本的生活習慣

3歳児配付 保護者用パンフレット



基本的生活習慣の重要性や子どもとの関わり方について分かりやすく説明しています。

指導者用手引き



パンフレットの図やイラストに関する説明、保護者に分かりやすく伝えるポイントなどを掲載しています。

付録 CD の説明もあります。



シールを貼りながら楽しく取り組むことができます。

付録 (CD) …H27 年度送付



CD の内容

- 1 スライド資料
- 2 「すくすくリズムカレンダー」
- 3 賞状 (2 種類)

保護者向け学習会で活用できるスライド資料なので、すぐ使えます。

また、すくすくリズムカレンダーや賞状のデータが入っているので、必要に応じて印刷できます。

◇子育て支援動画

動画の内容

- 親育ちって
- 「イヤイヤ期」の子育て
- 叱ること・ほめること
- 寝かしつけ
- スマホ時代の子育て
- きょうだいとのかわり

子育てに関する知識や経験が豊富な県内の保育者が、その保育技術を「子育てに役立つコツ」として解説する動画を配信しています。

啓発ポスター (A3 サイズ)



◇保護者の一日保育者体験



保育について理解が深まり、子育て力が高まる保護者の一日保育者体験。実践例や保護者の声などを掲載しています。

保護者への説明や取組方法の検討などにお使いください。

◇5歳児保護者研修 リーフレット



基本的生活習慣や親子の関わりの大切さ、「保育所・幼稚園等と小学校の役割とそのつながり」等について分かりやすく示しています。

就学に向けて、親子で楽しみながら取り組めるページや入学前に気になること Q&A も掲載しています。

リーフレットを活用した講話も実施しています。

※上記のものは全て下記ホームページにも掲載しています。ご利用ください。

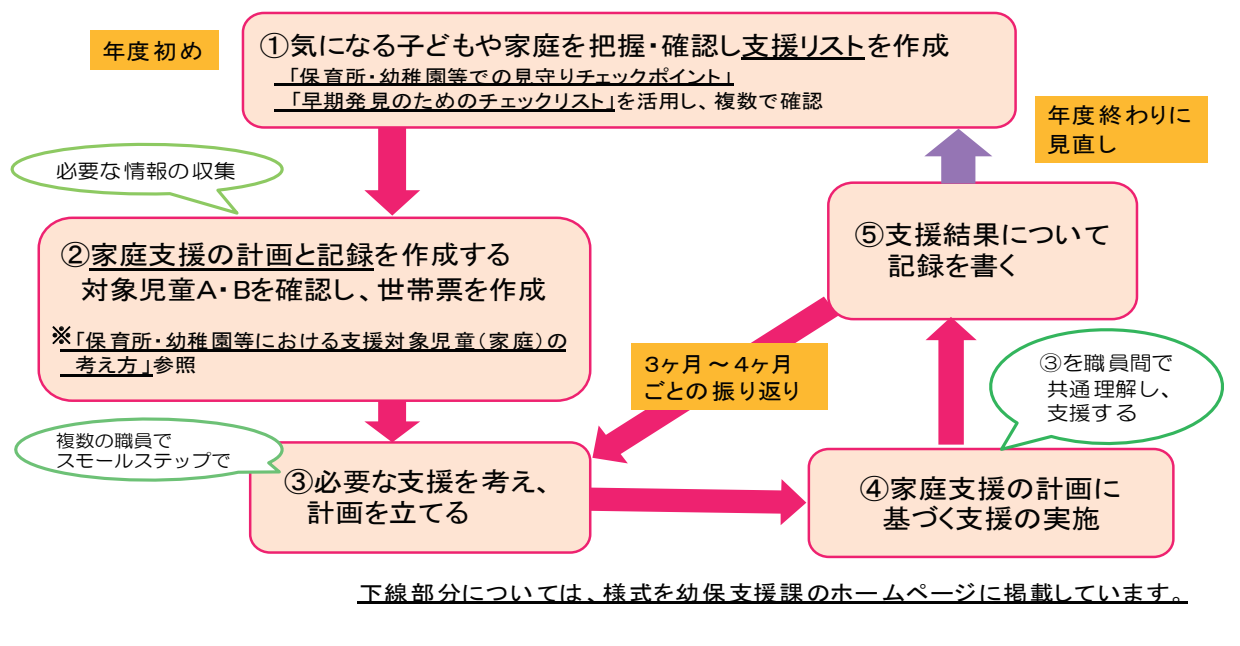
家庭支援の計画的な実施について

～抜かりのない情報共有と切れ目のない支援のために～

気になる子どもや保護者については園内で情報を共有し、早期に適切な支援・対応を行うことが、厳しい状況に陥ることを防ぐことにつながります。

「保育所・幼稚園等での見守りチェックポイント」(次ページ)で確認しながら、少しでもリスクがあると思われる子どもについてはリスト化し、園全体での共有や支援につなげてください。

「保育所・幼稚園等における支援対象児童(家庭)の考え方」※1を参考に、各園で支援を必要とする子どもの緊急度合いを見極め、園全体で共通理解を図り、家庭支援の計画を作成し、支援していきましょう。



※1 保育所・幼稚園等における支援対象児童(家庭)の考え方

高い 支援の緊急度 低い	気になる子どものリスト作成	考え方	支援方法
		A 市町村要保護児童対策地域協議会(要対協)による支援対象児童	計画と記録の作成
		B 支援度合いが高く、 <u>園で計画と記録が必要と判断した児童</u> 【例示】(個別判断のため、以下参考としてください。) □経済的に困窮している状況 □虐待を疑われる状況 □遅刻・欠席が頻繁な状況 □保護者に何らかのリスクがある状況 等 ※早期発見のためのチェックリストで確認	計画と記録の作成
		C Aにも、Bにも当たらない児童で、 <u>丁寧な保育により見守りしている児童</u> ※保育所・幼稚園等での見守りチェックポイントで確認	記録の作成

※所属長・親育支援(家庭支援)担当者への報告と情報共有の徹底



○計画と記録の作成や支援でお困りの園がありましたら、幼保支援課が支援に伺います。

「高知県電子申請サービス」にて必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。(講話4を選択)

親育ち支援・家庭教育支援の充実

「幼保支援課・生涯学習課」
令和7年度当初予算83,972千円

- ・保護者向けに子育てについての啓発等を強化するとともに、各園等において、親育ち支援の計画的な取組の充実に向け、親育ち支援担当者のスキルアップに向けた取組を強化
- ・実施主体である市町村が家庭教育支援を計画的に行うための支援の充実
- ・学校・園・家庭・地域が連携・協働し、地域全体で子どもとその保護者を支える基盤づくり

対策のポイント

1 現状

- ・子育てに不安や悩みを抱えている保護者や個別の支援が必要な保護者がいる。
※自分に余裕がなくなり、感情的に怒ってしまう。※叱り方が難しい等（県保護者講話アンケートより）
- ・保護者同士のつながりが希薄になってきている。
- ・生活の不安定さなどにより保護者に余裕がなく、子どもの養育に目を向けることが難しい保護者がいる。
※就学援助率全国1位（25.5%）（R4 文部科学省就学援助実施状況調査）
- ・基本的な生活習慣が十分に身に付いていない子どもがいる。

令和7年度の取組

親育ち支援（6,186千円） （保育者の親育ち子育て力向上のための支援）

親育ち支援保育者スキルアップ事業（2,118千円）

- ◆保育者の親育ち支援力に応じた研修の実施
- ・全保育者対象が親育ち支援について学ぶ「親育ち支援講座」
- ・各園の中核を担う「親育ち支援担当」が実践を深めるための研修会
- ・各地域の自主的な取組を促すための親育ち支援リーダーによる地域別交流会・研修会の開催



市町村行政職員を対象にした研修による市町村との連携強化（150千円）

- ◆全国的に著名な専門家による幼児教育・保育の重要性等の研修を開催

親育ち支援啓発事業（2,564千円）

- ◆保育者の親育ち支援力の向上を支援する「保育者向け研修」
- ◆保護者の子育て力向上を支援する「保護者向け研修」
- ◆保育者が子育てに役立つコツを解説する動画
- 「子育てに役立つコツ」を解説する動画の更新
- 「保育者研修」のメニューに不適切な保育の未然防止や働きやすい職場づくりのための「（保育職場の）人間関係づくり」「ハラスメント研修」を追加



基本的な生活習慣向上事業（1,354千円）

- ◆乳幼児期からの望ましい生活習慣の確立に向けた啓発や学習会の開催

2 課題

- ・保護者が子どもの成長や子育てを楽しんだり、親子のよりよい関係づくりを意識して関わることをできるようにする必要がある。
- ・日常的に保護者支援が行える状況をつくり、組織的・計画的な取組にしていける必要がある。
- ・基本的な生活習慣定着の大切さについて、正しい情報を様々な方法（学習会や早寝早起き朝ごはん運動等）で常に発信していく必要がある。

家庭教育支援・地域の教育力充実に取組（77,786千円） （家庭教育支援・連携協働により子どもたちの成長を支える取組）

家庭教育支援基盤形成事業（4,473千円）

- ◆各市町村における家庭教育支援の取組を支援するとともに、学校や地域での出前講座の実施により、家庭教育支援の充実に取り組む。
⇒市町村が実施する地域の実情に応じた家庭教育支援を目的とした講座や親子参加体験活動等の実施への支援
- ⇒高知家の親の育ちを応援する学習プログラムのファシリテーターの養成・派遣
- ◆高知家の早寝早起き朝ごはん運動の実施等により、基本的な生活習慣の向上・確立を促す。
⇒生活リズムチャートカードによる基本的な生活習慣の大切さの啓発



PTA活動振興事業（393千円）

- ◆学校、保護者、行政が協働し、PTAの研修会を開催する。また、保幼小中高の連携した取組が多くの保護者の参画を得て活性化するよう、PTA活動を支援する。
⇒PTA・教育行政研修会等の実施

地域学校協働活動推進事業（72,920千円）

- ◆学校・家庭・地域が連携・協働して、地域全体で学校や子どもたちの成長を支える地域学校協働活動をコミュニティ・スクールと一体的に推進する。
⇒地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の配置等への支援
- ⇒民生・児童委員の参画による厳しい環境にある子どもたちの見守り体制等を強化した「高知県版地域学校協働本部」への展開の推進